

# 女性・地域住民からみた防災施策のあり方に関する調査 (都道府県調査票)

都道府県コード	都道府県名	( 集計上必要です。忘れずに御記入ください。 コードは、「総務省地方公共団体コード一覧表(2008年 7月 1日現在)」を使用してください。 (参考: <a href="http://www.tt.rim.or.jp/ishato/tiri/code/code.htm">http://www.tt.rim.or.jp/ishato/tiri/code/code.htm</a> )

[記入者(事務局からの問い合わせ先)]

所属	職	氏名	電話番号	E-mail

[記入上のお願ひ]

- 平成20年4月1日現在で御回答ください。(回答が困難な質問の場合は、基準日を記入説明欄に記入ください)
- \* 印の質問は、**ドロップダウンリストから選択して**御回答ください。
- 緑の枠内の自由記述欄の記入は100字以内でお願いします。  
自由記述欄への記入は、きちんと内容を入力していただくよう御協力をお願いします。「別紙のとおり」や「HPアドレス」などの回答は避けてください。
- 回答を進める上で注意を促すため、ある回答を選択すると次の入力欄が黄色になるとありますが、そのまま入力してください。

## (項目1) まずは貴都道府県の防災体制の現状についてお知らせください。

質問事項	
質問1 (必須)	貴都道府県の防災会議における総委員数と女性委員数をお知らせください。 総委員数 人 うち、女性委員数 人
質問2 (必須)	防災・危機管理部局(消防・防災・国民保護・危機管理担当を含む。但し出先機関は除く。)への女性の配置状況をお知らせください。 該当所属職員総数 人 うち、女性職人数 人 該当所属管理職者数 人 うち、女性管理職者数 人 また、特に女性を男女共同参画の視点から配置している場合は、その配置状況(職名等)を下の欄に御記入ください。 配置状況記入欄
質問3 (必須)	貴都道府県では、2003年度以降の災害に対して、応援・支援のための職員を派遣しましたか? (「はい」「いいえ」「不明」を選択回答) *
質問4 (必須)	(前問で「はい」と回答した場合のみご回答ください) 貴都道府県が派遣した職員に、右に示す職種の <b>女性</b> が参加しましたか? (「はい」「いいえ」「不明」を選択回答) * 医師 警察官 保健師 看護師 防災担当職員 建築・土木職員 教職員 その他の職種記入欄

### 記入説明欄

シートには保護がかかっていますので、回答記入欄・記入説明欄の編集以外は操作できません。

E-mailが利用できない場合は、FAX番号を記載してください。

ドロップダウンリスト回答入力欄にマウスポインタを移動し、表示された矢印( )をクリックすると回答メニューが表示されますので、いずれかを選択してください。

庶務担当者：防災関係課の庶務的な担当している女性職員の場合も人数にカウントします。  
嘱託職員、アルバイト職員等はカウントしません。  
男女共同の視点での配置状況記入例：係長、担当など

対象は、他の都道府県への派遣です。

防災担当職員には庶務等職員も含めます。

教職員は、避難所や被災地の小学生、中学生などへの心のケア等に関する派遣です。

**質問5** 貴都道府県では、災害時要援護者やその関係者及び女性の視点を反映させた防災施策を行うために、下記のような取り組みを行っていますか？(A～Dの各々の項目について「はい」「いいえ」を選択回答) \*

(必須)

A. 災害時要援護者やその関係者、女性の意見を聞くための常設の会議を定期的  
に開催している。(防災会議を除く)

B. 必要に応じてタウンミーティング等を開催し、災害時要援護者やその関係者、女  
性の意見を聞いている。

C. 必要に応じて災害時要援護者やその関係者、女性へのヒアリングを行っている。

D. ホームページなど、防災施策に関する意見を聞くための窓口を開設している。

(Aで「はい」と回答した場合のみ御回答ください)

常設の会議の名称を御記入ください。

---

**質問6** (1) 貴都道府県では、防災施策に災害時要援護者やその関係者及び女性の視点を反映させるため、下記  
に挙げるものを発行していますか？  
(A～Eについて「発行済み」「作成中」「発行予定あり」「発行予定なし」を選択回答) \*

(2) (1)で発行済み・作成中・発行予定である場合、指針(提言書・手引き・ガイドラインを含む)等の名称を  
お知らせください。

(必須)

	(1)発行状況	(2)名称
A. 災害時要援護者やその関係者、女性の啓発を目的 としたチラシ・リーフレット・パンフレット		
B. 災害時要援護者やその関係者、女性を対象とした 手引き・マニュアル		
C. 市町村・施設向けの要援護者避難計画に関する指 針(手引き・ガイドラインを含む)		
D. 市町村・施設向けの避難所運営に関する指針(手引 き・ガイドラインを含む)		
E. 市町村・施設向けのその他の指針(手引き・ガイド ラインを含む)		

**質問7** (質問6のCで「発行予定なし」と回答した場合のみ御回答ください)  
市町村・施設向けの要援護者避難計画に関する指針(手引き・ガイドラインを含む)について、「発行予定な  
し」の理由をお知らせください。(100文字以内)

---

**質問8** (質問6のDで「発行予定なし」と回答した場合のみ御回答ください)  
市町村・施設向けの避難所運営に関する指針(手引き・ガイドラインを含む)について、「発行予定なし」の  
理由をお知らせください。(100文字以内)

---

**質問9** NPO等の団体(自主防災組織含む)が、災害時要援護者やその関係者及び女性等に対  
して、防災分野での支援活動を行う場合に、これらの支援活動を促進するための制度や  
仕組み、取り組みがありますか？(「はい」「いいえ」を選択回答) \*

(必須)

(「はい」と回答された場合のみ御回答ください)

仕組みや取り組みがあれば具体的に御記入ください。(100文字以内)

要援護者やその関係者  
とは、障害者や病人等の  
要援護の当事者だけでなく、  
その当事者の世話を  
している親族、施設職  
員、支援者・支援団体等  
を含みます。

Aの「常設の会議」と  
は、審議会、委  
員会などのように1年を  
通じて設置してあるもの  
を言います。

「災害時要援護者」や  
「女性」への支援を目的  
とした支援に限定しま  
す。

(項目2) 本項目は避難所運営に関する質問です。

質問事項	
質問10 (必須)	避難所運営に関して、下記の項目は重要なことだと考えますか？（「非常にそう思う・ややそう思う・あまりそう思わない・全くそう思わない」を選択回答）*
	A. プライバシーの確保
	B. 情報の伝達、コミュニケーションの確保
	C. バリアフリー・ユニバーサル対応
	D. 福祉避難所の設置
	E. こころのケア対策(災害や避難所生活・家族を失ったこと等により、ストレス、不安等が生じた人への対応)
	F. 健康や栄養状態についての指導や助言
	G. 糖尿病、人工透析等の患者への支援
	H. 妊産婦、乳幼児を持つ女性への支援
	I. 避難所内での託児所の設置
	J. 自宅で病人、障害者、高齢者などの世話をしている家族への支援
	K. 女性への暴力やセクハラ防止のための安全対策
	L. 避難所運営への女性の参画の推進
M. ペット対策	
N. その他(自由記述欄)(100文字以内)	
質問11 (必須)	避難所運営の際、災害時要援護者やその関係者及び女性の視点を考慮して下記の設備を設置する必要があると考えますか？（「非常にそう思う・ややそう思う・あまりそう思わない・全くそう思わない」を選択回答）*
	A. 更衣室
	B. 授乳室
	C. オムツ替えスペース(大人用、子供用)
	D. トイレ(男女別、車椅子使用者専用、オストメイト(人工肛門・人工膀胱保有者)用)
	E. 風呂
	F. 洗濯物干し場
	G. 簡易調理施設(調乳や離乳食・介護食の調理等のため)
	H. その他(自由記述欄)(100文字以内)

避難所における災害時要援護者について、厚生労働省から「福祉避難所設置・運営に関するガイドライン」が示され、各自治体においても福祉避難所が重要な位置付けとなっています。当調査における避難所に関する質問においては、「防災分野における女性の視点」が調査の基本視点であり、あえて通常の避難所を想定しております。福祉避難所に関しては問10において、その重要度について尋ねるに留めました。

質問10、11の避難所運営に関する質問で、避難所の開設期間は、一週間以上の比較的長期間を想定しています。

**(項目3) ここでは避難所運営に関する指針(手引き・ガイドラインを含む)の作成プロセスについてお伺いします。質問6のDで「発行済み」、「作成中」、「発行予定あり」のいずれかに回答した場合のみ、本質問に御回答ください。**

**質問事項**

避難所運営に関する指針(手引き・ガイドラインを含む)を作成する際、下記のA～Hに掲げる災害時要援護者やその関係者等がどのように関わりましたか？(「」×「不明」を選択回答、Iについては対象者を記入)

質問12

- (1)作成にあたって、A～Hに掲げる災害時要援護者の担当部局や担当者に意見を聞きましたか？\*
- (2)ヒアリングを実施しましたか。  
実施した場合、下記のA～Hの災害時要援護者やその関係者等に個別のヒアリングを行いましたか？\*
- (3)検討会等(プロジェクトチーム、委員会を含む)を開催しましたか。  
開催した場合、下記のA～Hの災害時要援護者やその関係者等を検討会に招いて、意見を聞きましたか？\*
- (4)パブリックコメント等を実施し、指針案に対して意見をもらいましたか？\*
- (5)(2)～(4)に関わった災害時要援護者やその関係者等の中に女性はいましたか？\*
- (6)(5)で関わった女性は、具体的にどのような立場の人ですか？  
(「本人」「家族」「関係者」「支援者」「その他」を選択回答)\*

実施状況	A 妊産婦・乳幼児	B 保育園児・幼稚園児	C 小学校児童	D 高齢者	E 在宅の要介護者	F 障害者	G 病人	H 外国人	I その他
(1)担当部局・担当者から意見等を聞きましたか									
(2)個別のヒアリングを行いましたか									
(3)検討会等に招き、意見をもらいましたか									
(4)パブリックコメント等により意見をもらいましたか									
(5)(2)～(4)の対象者の中に女性はいましたか									
(6)(5)で関わった女性の具体的な立場を御記入ください。									

(1)～(4)までの実施状況を選択回答し、  
の場合にはA～Iまで入力をしてください。  
(5)、(6)についてはA～Iまで選択回答してください。

Iについては該当者を入力してください。  
関係者は、保健、医療、福祉の施設・事業所の代表や職員、学校の教員を指します。  
支援者は、ボランティアや任意団体等で災害時要介護者を支援している者を指します。

質問13

**(質問12の(3)で「」=検討会等を実施したと回答した場合のみ御回答ください)**

- (1)避難所運営に関する指針(手引き・ガイドラインを含む)を作成する検討会等に、右記のA～Lの団体・人々等に関わる女性が参画しましたか？(「参画した」「参画しない」を選択回答)\*
- (2)具体的にはどのような立場の人ですか？(「本人」「家族」「関係者」「支援者」「その他」を選択回答)\*

	(1)女性参画状況	(2)参画した人の立場
A 妊産婦・乳幼児		
B 保育園児・幼稚園児		
C 小学校児童		
D 高齢者		
E 在宅の要介護者		
F 障害者		
G 病人		
H 外国人		
I ボランティア団体		
J 自主防災組織		
K 消防団・消防隊		
L 女性団体		

難病患者については「病人」に含めます。

質問14	避難所運営に関する指針(手引き・ガイドラインを含む)の作成に際して、男女共同参画担当部局と連携を行いましたか？(「はい」「いいえ」を選択回答)*																														
	(「はい」と回答された場合のみ御回答ください) 具体的にどのような連携を行ったか御記入ください。(100文字以内)																														
質問15	避難所運営に関する指針(手引き・ガイドラインを含む)の作成プロセスにおいて、災害時要援護者やその関係者、女性等から意見をもらう上で、妨げや障害になっているとわかれることがありますか？(「ある」「ない」を選択回答)*																														
	(「ある」と回答された場合のみ御回答ください) 妨げや障害になっていることを具体的に御記入ください。(100文字以内)																														
質問16	避難所運営に関する指針(手引き・ガイドラインを含む)には、下記の項目に関する記述がありますか？(「ある」「ない」を選択回答)*																														
	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>記述の有無</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>A. プライバシーの確保</td><td></td></tr> <tr><td>B. 情報の伝達、コミュニケーションの確保</td><td></td></tr> <tr><td>C. バリアフリー・ユニバーサル対応</td><td></td></tr> <tr><td>D. 福祉避難所の設置</td><td></td></tr> <tr><td>E. こころのケア対策(災害や避難所生活・家族を失ったこと等により、ストレス、不安等が生じた人への対応)</td><td></td></tr> <tr><td>F. 健康や栄養状態についての指導や助言</td><td></td></tr> <tr><td>G. 糖尿病、人工透析等の患者への支援</td><td></td></tr> <tr><td>H. 妊産婦、乳幼児を持つ女性への支援</td><td></td></tr> <tr><td>I. 避難所内での託児所の設置</td><td></td></tr> <tr><td>J. 自宅で病人、障害者、高齢者などの世話をしている家族への支援</td><td></td></tr> <tr><td>K. 女性への暴力やセクハラ防止のための安全対策</td><td></td></tr> <tr><td>L. 避難所運営への女性の参画の推進</td><td></td></tr> <tr><td>M. ペット対策</td><td></td></tr> <tr><td>N. その他(自由記述欄)(100文字以内)</td><td></td></tr> </tbody> </table>		記述の有無	A. プライバシーの確保		B. 情報の伝達、コミュニケーションの確保		C. バリアフリー・ユニバーサル対応		D. 福祉避難所の設置		E. こころのケア対策(災害や避難所生活・家族を失ったこと等により、ストレス、不安等が生じた人への対応)		F. 健康や栄養状態についての指導や助言		G. 糖尿病、人工透析等の患者への支援		H. 妊産婦、乳幼児を持つ女性への支援		I. 避難所内での託児所の設置		J. 自宅で病人、障害者、高齢者などの世話をしている家族への支援		K. 女性への暴力やセクハラ防止のための安全対策		L. 避難所運営への女性の参画の推進		M. ペット対策		N. その他(自由記述欄)(100文字以内)	
	記述の有無																														
A. プライバシーの確保																															
B. 情報の伝達、コミュニケーションの確保																															
C. バリアフリー・ユニバーサル対応																															
D. 福祉避難所の設置																															
E. こころのケア対策(災害や避難所生活・家族を失ったこと等により、ストレス、不安等が生じた人への対応)																															
F. 健康や栄養状態についての指導や助言																															
G. 糖尿病、人工透析等の患者への支援																															
H. 妊産婦、乳幼児を持つ女性への支援																															
I. 避難所内での託児所の設置																															
J. 自宅で病人、障害者、高齢者などの世話をしている家族への支援																															
K. 女性への暴力やセクハラ防止のための安全対策																															
L. 避難所運営への女性の参画の推進																															
M. ペット対策																															
N. その他(自由記述欄)(100文字以内)																															

質問17	避難所運営に関する指針(手引き・ガイドラインを含む)には、災害時要援護者やその関係者、女性の視点を考慮して下記の設備を設置するようという記述がありますか？(「ある」「ない」を選択回答) *	
		記述の有無
	A. 更衣室	
	B. 授乳室	
	C. オムツ替えスペース(大人用、子供用)	
	D. トイレ(男女別、車椅子使用者専用、オストメイト(人工肛門・人工膀胱保有者)用)	
	E. 風呂	
	F. 洗濯物干し場	
G. 簡易調理施設(調乳や離乳食・介護食の調理等のため)		
H. その他(自由記述欄)(100文字以内)		
<input type="text"/>		

**(項目4) 備蓄に関する質問です。本項目は必須です。**

質問事項									
質問18	貴都道府県では、備蓄品の品目や量に関して規定やルールを定めていますか？(「はい」「いいえ」を選択回答) *								
(必須)	(「はい」と回答された場合のみ御記入ください) 下記のA～Dについて、規定やルールの基本的な考え方を簡潔に御記入ください。(100文字以内)								
	<table border="1"> <tr> <td>A 保管備蓄と協定による調達</td> <td></td> </tr> <tr> <td>B 備蓄する品目</td> <td></td> </tr> <tr> <td>C 備蓄する量</td> <td></td> </tr> <tr> <td>D その他</td> <td></td> </tr> </table>	A 保管備蓄と協定による調達		B 備蓄する品目		C 備蓄する量		D その他	
A 保管備蓄と協定による調達									
B 備蓄する品目									
C 備蓄する量									
D その他									
質問19	備蓄品の決定に際して、災害時要援護者やその関係者、女性の意見を参考にしましたか？(「はい」「いいえ」を選択回答) *								
(必須)	(「はい」と回答された場合のみ御記入ください) 意見を参考にした要援護者等を御記入ください。(100文字以内)								
<input type="text"/>									

規定等とは、要綱だけではなく地域防災計画に定めている場合も該当します

保管備蓄の財政的な負担と協定による場合の調達物品の確保など

自治体としての保管すべき備蓄品目等についての考え

発生後、何日分の備蓄が必要か、その量の考え方など

ABC以外の事に関する考えなど

質問20

(1) 下表の各物品について備蓄の考え方をお知らせください。  
 各物品について、都道府県もしくは市町村が備蓄すべきと考えますか？ \*  
 (「都道府県もしくは市町村が備蓄すべき」であれば「○」、  
 「都道府県や市町村は備蓄の必要がない」であれば「×」を選択回答)

(次の「○」は、「○」と答えた場合のみ御記入ください。黄色のセル部分に御回答ください。)  
 各物品は誰が備蓄すべきか、備蓄主体の考え方をお知らせください。 \*  
 (「主として都道府県が備蓄すべき」「都道府県と市町村が半分ずつ備蓄すべき」  
 「主として市町村が備蓄すべき」から選択回答)

各物品について、で答えになった備蓄主体の備蓄方法の考え方をお知らせください。 \*  
 (「主として常時備蓄すべき」「常時備蓄と流通備蓄を半分ずつ活用して備蓄すべき」  
 「主として流通備蓄すべき」から選択回答。備蓄主体ごとにお答えください。)

(2) 各物品について、現在の備蓄状況をお知らせください。 \*  
 (「主として常時備蓄している」「常時備蓄と流通備蓄を半分ずつ活用して備蓄している」  
 「主として流通備蓄している」「備蓄していない」から選択回答)

( )項目「その他必要と思われるもの」の欄には、貴自治体が災害時要援護者や女性の視点から特に必要と思われるものがあれば、4つ以内で回答してください。 \*

(必須)

項目	物品	(1) 備蓄の考え方				(2) 現在の備蓄状況
		必要性	備蓄主体	備蓄の手段		
				都道府県	市町村	
食料	・主食(米、パン等)					
	・副食					
	・調味料など					
	・飲料水					
生活用品・資機材	・毛布					
	・ブルーシート					
	・家庭用医薬品					
	・簡易な間仕切り(ダンボール等)					
	・ベッド・担架					
	・プライバシーを保てる間仕切り					
	・仮設トイレ(和式)					
	・仮設トイレ(洋式)					
女性用品	・生理用品					
乳幼児用品	・調製粉乳					
	・哺乳瓶					
	・小児用おむつ					
	・おしりふき(ウェットティッシュ)					
	・離乳食					
	・スプーン					
高齢者・病人用品	・成人用おむつ					
	・介護食					
	・成人病対応食					
	・アレルギー対応食					
	・ストーマ用装具					
	・気管孔エプロン・酸素ボンベ等の補装具					
その他、特に必要と思われるもの						

質問のブルダウンメニュー、「都道府県」「市町村」「常時備蓄」「流通備蓄」は、「主として・・・」の意味です。ブルダウンメニューの「両者半々」については、「都道府県と市町村が半分ずつ備蓄すべき」の意味です。(2)のメニューで「半々」は、「常時保管備蓄と協定による流通備蓄が半々程度」の意味です。もし、どちらかに偏った比率の場合は「主として・・・」を考慮してください。



<b>(項目5) 防災分野での意思決定過程に関する質問です。本項目は必須です。</b>			
質問事項			
質問21 (必須)	今年2月に実施した全国知事会の調査では、都道府県防災会議メンバーのうち女性の割合は平均3.1%でした。防災会議で女性の登用率が低い理由は何だと思えますか？ (「非常にそう思う・ややそう思う・あまりそう思わない・全くそう思わない」を選択回答) *		
	A. 職指定があるため女性委員が就任しにくい B. 女性委員候補となる人材が不足している C. 女性委員候補となる人材の情報が不足している D. その他(自由記述欄)(100文字以内)		
質問22 (必須)	防災会議について、「職指定があるために女性委員が就任しにくい」という現状や「自主防災組織などの代表の考えを聞く必要がある」などの意見があります。このためには、知事の裁量を拡大して、女性や自主防災の代表の登用を行いやすくしたほうがよいと思えますか？(「良いと思う」「どちらかといえば良いと思う」「どちらかといえば良いとはいえない」「良いとはいえない」を選択回答) *		
質問23 (必須)	貴都道府県では防災会議以外の防災関係の検討会等で女性登用を促進するための仕組みや取組みがありますか？(「はい」「いいえ」を選択回答) * (「はい」と回答された場合のみ御回答ください) 仕組みや取組について具体的に御記入ください。(100文字以内)		
<b>(項目6) 貴都道府県の人口構成についての質問です。本項目は必須です。</b>			
質問事項			
質問24 (必須)	男性人口	総人口	人
		0-4歳	人
		65-74歳	人
		75歳以上	人
	女性人口	総人口	人
		0-4歳	人
		65-74歳	人
		75歳以上	人
	外国人	男性外国人人口	人
		女性外国人人口	人

最後まで調査にご協力いただきまして、ありがとうございました。